作成日 2019/4/1 改定日 2024/06/01

安全データシート(SDS)

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称:ボンHBサーフェーサーR(W)
種類:合成樹脂エマルション塗料
会社名:AGCコーテック株式会社
住所:〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2丁目9番地
担当部門:CSR室 江澤 孝行
電話番号:03-5217-5104
FAX番号:03-5280-0028
緊急連絡電話番号:03-5217-5104
整理番号:3020400114207
使用上の制限:推奨用途以外への使用は推奨しない。
用途:建築用、その他

---

2. 危険有害性の要約

GHS分類:
健康に対する有害性:
特定標的臓器毒性(単回ばく露) :区分2
GHSラベル要素:
絵表示シンボル:

注意喚起語:警告
危険有害性情報:
・臓器の障害のおそれ
注意書き:
安全対策:
・粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
・取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
応急措置:
・ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。
保管:
・施錠して保管すること。
廃棄:
・内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

---

3. 組成及び成分情報

化学物質/混合物の区分:混合物
化学名または一般名:
化学特性(化学式等):
毒物及び劇物取締法:該当せず
成分:

成分名	CAS.No.	含有量(%)	安衛法 通知物質	毒劇法	PRTR法
エチレングリコール	107-21-1	＜2.0	○	-	
鉱油	非公開/不明	＜1.0	-	-	
酸化チタン	13463-67-7	＜5.0	○	-	

補足説明:
・成分情報/安衛法通知物質(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)にて記載されている記号

の内容は以下の通りとなります。
○: 既存
R7: R7年4月1日以降（施行予定）
R8: R8年4月1日以降（施行予定）
成分の含有量について企業秘密であるものは範囲で記載。

---

4. 応急措置

吸入した場合:
- 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 気分が悪い時には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合:
- 付着物を清浄な乾いた布で素早く拭き取る。
- 溶剤、シンナーを使用してはならない。
- 皮膚に付着した場合:多量の水/適切な薬剤で洗うこと。
- 外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪いときには医師の診断を受ける。

眼に入った場合:
- 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 眼の中に全て水が行き届くように洗浄する。
- 眼の刺激が続く場合:医師の診察／手当てを受けること。

飲み込んだ場合
- 嘔吐物は飲み込ませないこと。
- 医師の指示のない場合は、吐かせてはならない。
- 負傷者を安静にし直ちに医師の診察を受ける。

応急措置をする者の保護:
- 救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。
- 適切な換気を確保する。

医師に対する特別な注意事項
- 緊急の特別処置などを講ずる。

---

5. 火災時の措置

適切な消火剤:周辺設備に適した消火剤を使用する。この製品自体は燃焼しない。
使ってはならない消火剤:情報なし
特有な消化方法:
- 周辺火災に対応して、消火活動を行うこと。

---

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:
- 適切な保護具を着用する。
- 作業の際は適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
- 周辺を立ち入り禁止にして、関係者以外を近づけないようにして二次災害を防止する。

環境に対する注意事項:
- 漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
- 河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法／機材:
- 回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。
- 漏出物は、密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。
- 付着物、廃棄物などは、関係法規に基づいて処置すること。

二次災害の防止策
- 回収物の廃棄方法については、専門家の指示を求める。

---

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い:
技術的対策:

（取扱者の暴露防止）
・ 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
安全取扱注意事項:
・ 屋外又は換気の良い場所でだけで使用すること。
接触回避データなし
衛生対策:
・ 取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
・ この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
保管:
安全な保管条件:
・ 換気の良い場所で保管すること。
・ 容器を密閉しておくこと。
・ 施錠して保管すること。
（避けるべき保管条件）
・ 日光から遮断すること。
安全な容器包装材料データなし

---

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度／許容濃度:

化学物質名	八時間濃度基準値（安衛則第577条の2の2項）	短時間濃度基準値（安衛則第577条の2の2項）	skin
エチレングリコール	10ppm	50ppm	

化学物質名	日本産業衛生学会 ppm	日本産業衛生学会 mg/m^3	skin
酸化チタン	–	1.5（吸入性粉塵） 2（総粉塵）	

化学物質名	ACGIH_TWA ppm	ACGIH_TWA mg/m^3	skin
エチレングリコール	25	–	
酸化チタン	–	2.5	

化学物質名	STEL_TWA ppm	STEL_TWA mg/m^3	skin
エチレングリコール	50	10	

保護具:
呼吸用保護具:
・ 呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具:
・ 保護手袋を着用する。
眼の保護具:
・ 保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具:
・ 保護衣を着用する。

---

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	： 液体
色	： 白色
臭い	： 僅かアクリル臭
融点／凝固点	： 情報なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	： 情報なし
可燃性	： 情報なし
爆発下限界および爆発上限界／可燃限界	： 情報なし
引火点	： 情報なし
自然発火点	： なし
分解温度	： 情報なし
pH	： 7.5～9.5
動粘性率	： 情報なし

溶解性	： 情報なし
n-オクタノール／水分配係数	： 情報なし
蒸気圧	： 情報なし
密度及び／又は相対密度	： 1.5～1.6
相対ガス密度	： 情報なし
粒子特性	： 情報なし

---

10. 安定性及び反応性

反応性:
- 情報なし

化学的安定性:
- 安定である

危険有害反応可能性:
- 情報なし

避けるべき条件:
- 情報なし

混触危険物質:
- 情報なし

危険有害な分解性生成分:
- 情報なし

---

11. 有害性情報

急性毒性:

エチレングリコール

LD50	（経口）	ラット	=6140 mg/kg
LC50	（ミスト）	ラット	=2.7 mg/L(4h)

酸化チタン

LD50	（経口）	ラット	>5,000 mg/kg
LD50	（経皮）	ハムスター	>10,000 mg/kg
LC50	（粉体）	ラット	>5.09 mg/L

皮膚腐食性／刺激性:

エチレングリコール	ヒト	刺激性 (SIDS, 2009)

眼に対する重篤な損傷／刺激性:

エチレングリコール	ラビット	軽微な結膜刺激 (CICAD 45, 2002)

呼吸器感作性:
情報なし

皮膚感作性:
情報なし

変異原性（生殖細胞変異原性）:
情報なし

発がん性:

酸化チタン
cat.2; IARC Gr. 2B (IARC 93, 2010 et al.)
IARC-Group 2B：ヒトに対して発がん性があるかもしれない
ACGIH-A3：確認された動物発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

エチレングリコール
ACGIH-A4：ヒト発がん性因子として分類できない

生殖毒性:
情報なし

特定標的臓器毒性（単回ばく露）:

エチレングリコール	区分1	（中枢神経系、血液系、腎臓）
	区分3	（気道刺激性、麻酔作用）

特定標的臓器毒性（反復ばく露）:
情報なし

誤えん有害性:
情報なし

---

12. 環境影響情報

・漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取扱いに注意する。特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

水生環境有害性　短期(急性)

エチレングリコール	魚類（ヒメダカ）LC50 ＞ 100mg/L/96hr
酸化チタン	甲殻類（オオミジンコ）EL50 > 100mg/L/48hr

水生環境有害性 長期（慢性）

エチレングリコール	甲殻類（ニセネコゼミジンコ）MATC＝4.2mg/L/7days

水溶解度

エチレングリコール	100 g/100 ml
酸化チタン	溶けない

残留性・分解性

エチレングリコール	急速分解性あり（BOD分解度=90%/14days）

生態蓄積性

エチレングリコール	log Pow=-1.93

土壌中の移動性データ

情報なし

オゾン層への有害性データ

情報なし

その他情報

漏洩、廃棄などの際には、環境に影響を与える恐れがあるので、取り扱いに注意する。
特に、製品や洗浄水が、地面、川や排水溝に直接流れないように対処すること。

---

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

・環境への放出を避けること。
・内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

---

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号：該当しない
正式輸送名：該当しない
分類または区分：該当しない
容器等級：該当しない

環境有害性

海洋汚染物質（該当/非該当）：非該当

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。
航空法に該当しない。

---

15. 適用法令

労働安全衛生法:

・57条の2通知対象物質
・安衛則第594条の2　皮膚等障害化学物質等

物質名	CASNO
エチレングリコール	107-21-1

廃棄物の処理及び清掃に関する法律:

---

16. その他の情報

引用文献:

・Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
・Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 19th edit., 2015 UN
・Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)

- 2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
- 2018 TLVs and BEIs. (ACGIH)
- http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php
- JIS Z 7253 (2012年)
- JIS Z 7252 (2014年)
- 2017 許容濃度等の勧告（日本産業衛生学会）
- Supplier's data/information

その他：

- このSDSは、当社の製品を適正にご使用戴くために必要で、注意しなければならない事項を簡潔にまとめたので、通常の取扱いを対象としたものです。
- 記載内容は、現時点で入手した資料、情報データに基づき作成しておりますが、危険、有害性に関する評価は、必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。
- このSDSは、法令の改正、新しい知見により、予告なく改訂することがあります。
- このSDSは、国の規制を含む（社）日本塗料工業会の基準に基づくものでありますが、地方自治体の規制情報は含まれていませので、当該自治体の規制に従って対処してください。
- PRTR該当物質については、1，2種は1％以上、特定1種0．1％以上の場合に対象となります。
- PRTR2種については、国（事業所管轄大臣）への報告は不要です。
- 2項危険有害性の要約のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については
  「区分に該当しない」又は「分類できない」に該当します。